

名古屋大学全学同窓会 岐阜支部 Newsletter

NAGOYA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION (NUAL) GIFU BRANCH

No.1 (創刊号) 令和4年(2022)4月

<http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/gifu/index.html>

編集人 伊藤義人

itoh@civil.nagoya-u.ac.jp

はじめに

コロナ禍が3年目に入り、同窓会活動に制限がかかっています。名古屋大学全学同窓会岐阜支部においても、令和元年6月29日に設立総会が開催されてから、大規模講演会や総会を企画しましたが、いずれも実現できませんでした。今後は、With Coronaにおいても種々の活動を行い、かつ岐阜支部の会員に情報を提供するために、岐阜支部のNewsletterを発行することになりました。名古屋大学全学同窓会のホームページに掲載するとともに、必要に応じて添付ファイル付きのE-mailでお送りしたいと思います。

岐阜支部長挨拶 小笠原文雄



名古屋大学全学同窓会の岐阜支部は、令和元年6月に設立総会が盛況の裡に開催され、その翌年に1000人規模の総会・講演会を企画しましたが、コロナ禍のため断念せざるを得ませんでした。その後もコロナ禍は続き、幹事会などは遠隔で実施していましたが、岐阜支部の皆様にお集まりいただく機会はありませんでした。

With Coronaを前提にした支部の活動を模索しており、令和4年度には何らかの形で総会・講演会を実施したいと思います。このたび、創刊された岐阜支部のNewsletterやE-mailで今後の予定をお知らせしますのでよろしくお願い申し上げます。

b.ogasaw@orion.ocn.ne.jp

岐阜支部事務局長挨拶 秋山晶則



岐阜支部の設立準備委員会設置時から事務局長を仰せつかっている秋山です。コロナ禍で支部活動も思うにまかせぬ状況が続いておりますが、多くの岐阜支部会員の皆様から激励を受けております。4月25日(月)に、名古屋大学で令和4年度第1回岐阜支部幹事会を開催し、今後の活動方針とスケジュールを検討しました。何とか、皆様にお会いできる機会を設けたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。なお、岐阜支部への連絡やお問合わせは、以下のE-mailでお願いいたします。

岐阜支部 E-mail : 2019nugaa@gmail.com

岐阜支部役員

支部長 小笠原文雄 (医 1973 年卒、小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック理事長)
事務局長 秋山 晶則 (文 1985 年卒、岐阜聖徳学園大学教育学部長)
監 事 杉山 寛行 (文 1971 年卒、元岐阜市立女子短期大学長、名古屋大学名誉教授)
幹 事

伊藤 義人 (工 1875 年、名古屋産業科学研究所上席研究員、全学同窓会副会長、
名古屋大学/岐阜高専名誉教授)

内山 文雄 (経 1969 年卒、キタン会理事)

大西 隆信 (文 1971 年卒、名古屋大学文学部同窓会代表幹事)

北川 秀夫 (工 1986 年卒、岐阜工業高等専門学校教授/教務主事/副校長)

西村 今日子 (文 1986 年卒、森松 T&S 株式会社理事、全学同窓会副会長)

星野 香 (理 1968 年卒、元名古屋大学教員)

山田 邦夫 (農 1994 年卒、岐阜大学応用生物科学部教授)

会計幹事 太田 裕之 (法 1983 年卒、十六 TT 証券代表取締役社長)



伊藤 義人



内山 文雄



太田 裕之



大西 隆信



北川 秀夫



西村 今日子



星野 香



山田 邦夫

今後の活動方針とスケジュール

令和4年4月25日(月)に名古屋大学にて岐阜支部幹事会が開催され以下のような活動方針が決められました。

1. 令和4年度総会・講演会を実施する。状況に応じて、対面、遠隔そして対面と遠隔の組み合わせを検討する。
開催期日は、12月から1月にかけて、土曜日か日曜日に会場確保などを検討する。
2. 岐阜支部 Newsletter を発行し、名古屋大学全学同窓会のホームページに掲載するとともに、添付ファイルで E-mail 配信
を考える。
3. 岐阜支部幹事会は、今年度の総会・講演会を実施するために適宜開催する。

支部長が松尾機構長と杉山新総長を表敬訪問

令和4年4月25日（月）に、松尾機構長と杉山新総長を表敬訪問されました。令和4年度の岐阜支部の総会・講演会への参加を依頼され、快諾を得ました。



左から
杉山新総長，小笠原支部長，松尾機構長

懇談時（一番左は伊藤副会長）

令和4年度総会・講演会の予定

現在、岐阜支部幹事会の決定を受けて、日時と会場の予定を立てています。ただし、諸般の事情によっては変更される可能性がありますのでご注意ください。

日時：令和4年12月11日（日）14：00～17：00

場所：じゅうろくプラザ（JR岐阜駅隣接） <http://plaza-gifu.jp>

岐阜支部の創設の経緯

全学同窓会 NewsletterNo. 32 令和元（2019）年 10 月より引用

国内 4 番目の岐阜支部が設立されました

名古屋大学全学同窓会岐阜支部設立委員（幹事）
名古屋大学全学同窓会副会長

伊藤 義人



1. はじめに

令和元年6月29日（土）の17時から、ホテルグランヴェール岐山（岐阜市）で、名古屋大学全学同窓会岐阜支部の設立総会・交流会が開催されました。参加者は、約100名と多く、文系と理系のほとんど全ての部局の卒業生が集まり、松尾総長にもご参加いただき大変盛況な会となりました。

2. 設立の前提条件

岐阜支部の設立については、2010年代の初めに、それを希望する声が上がっていました。私が代表幹事の頃でしたが、いくつかの課題があるという回答をしました。すなわち、1)全学同窓会の本部に近すぎる（岐阜駅から名古屋駅まで20分）。岐阜の卒業生もホームカミングデイなどの全学同窓会の本部行事に容易に参加できる。2)支部としての適当な規模になり、継続性は保たれるか。4)支部を運営する組織をどう作り、支部認定の手続きはどうするか。などでした。

全学同窓会は、これまで関東支部、遠州会、関西支部の3つの国内支部と15の海外支部を作ってきました。全学同窓会は平成14年10月に設立され、その翌年の平成15年3月には関東支部（支部長：丹羽宇一郎副会長）、その年の11月には、遠州会（支部長：南方陽氏）を支部として認定しました。遠州会そのものは、平成8年に浜松近辺の卒業生を中心に発足していました。発足時には500名近い卒業生が対象で、毎年、総会や交流会を開催し70人～80名の人達が集まっていました。関西支部（支部長：藤井眞澄氏）は、翌年の平成16年11月に発足し、毎年総会を開催しています。関東支部と関西支部は、同窓会本部が直接関与して設立されました。

関西支部が設立されてから15年がたち、岐阜支部は、支部の人たちを中心とした活動によって従来とは全く異なる方式で設立されました。

3. 設立過程

平成28年4月に、私は名古屋大学から国立岐阜工業高等専門学校に異動しました。2年間は名古屋大学の招へい教員もしていました。平成30年に入り、周辺から再度岐阜支部の立ち上げは出来ないかという要請がありました。私も岐阜支部会員の対象者であり、環境整備を依頼されました。

全学同窓会の代表幹事は、和田先生に代わっていただき、私は同窓会本部事務を補佐する副会長になっていました。同窓会本部事務とも相談して、岐阜支部設立の課題を検討しました。まず、全学同窓会から大学へ移管した卒業生等電子名簿に登録されている卒業生・修了生の中で、岐阜支部の対象になる人数を出してもらいました。岐阜に在住または在勤、あるいはその経験者という項目で検索してもらった結果、約8000名が対象になることが分かりました。卒業生等電子名簿に登録されていない人もあり、岐阜支部は、多分1万人程度が対象になる

ことが分かりました。規模としては、支部設立に全く問題がないことが分かりました。

次に手続きですが、この卒業生等電子名簿を設立のために利用しようとするれば、全学同窓会による支部認定が必要という大学側の回答でした。和田代表幹事と相談して、支部設立手順の申合せを幹事会で作ってもらうことにしました。

一方、周辺に声をかけて、第1回の設立委員会を、平成31年1月13日に6名で開催されました。事務局長の秋山晶則先生（岐阜聖徳学園大学教育学部長）、西村今日子副会長（森松工業株式会社取締役）、杉山寛行氏（岐阜市立女子短期大学長）、太田裕之氏（十六銀行取締役専務執行役員（当時））と私です。ここで、設立趣意書、支部内規および総会案内を作りました。また、小笠原文雄氏（小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック理事長）にも設立委員会に入っただき、支部長候補になってもらうことにしました。

平成31年2月8日に開催された、全学同窓会の幹事会で、まず、「名古屋大学全学同窓会国内支部設立に係る申合せ」が決められました。その後、この申合せに従って、設立委員会で作成した岐阜支部の設立趣意書、支部内規（案）および設立委員会委員名簿の説明をして、支部認定の承認をもらいました。

その後、全学同窓会のHPに総会案内を掲載してもらうとともに、各部局・学科同窓会に岐阜支部の幹事や協力者のリストを出してもらうように依頼してもらいました。複数の同窓会から、紹介があり、最終的に設立委員会のメンバーに4名の部局同窓会からの紹介者を追加して、10名で幹事会を構成することになりました。設立総会の案内は、E-mailとロコミでも行いました。設立委員会は、この後2回開催して、設立総会の手順などを相談しました。

4. 設立総会

設立総会は、令和元年6月29日（土）17時から、ホテルグランヴェール岐山で開催されました。11テーブルを使った着席形式で行いました。第1部で、総会を行い、その直ぐ後で交流会を行いました。

司会は、和服姿の西村副会長によって行われ、最初に、本文の2. と3. で述べたような岐阜支部設立の経緯を私がスライドを使って説明しました。

その後、秋山事務局長によって、支部内規と支部役員（幹事）の説明があり、それらが正式に承認され、岐阜支部は立ち上がりました。小笠原支部長や秋山事務局長を始めとした、支部幹事の簡単な自己紹介があり、総会は終了しました。

5. 交流会

交流会の冒頭で、小笠原支部長の挨拶がありました。懇親だけで無く、大学の役にたつ岐阜支部としたいというお話しがありました。

その後、松尾総長によって、スライドを使って、「新しい国立大学像を目指す名古屋大学の挑戦 NU-PRACTISS と東海国立大学機構」と題して、名古屋大学の現状などの詳しい説明がありました。令和2年4月に設立される東海国立大学機構の下で運営される名古屋大学と岐阜大学が何をめざすかという詳しい説明がありました。参加者に大変好評でした。



小笠原文雄支部長の挨拶



スライドを使って説明される松尾総長

太田会計幹事の音頭で、乾杯がされ、懇談・会食が始まりました。少したって、遠州会支部長の南方陽氏と関東支部事務局長の岸徹氏による挨拶がありました。両支部の特徴と支部運営のノウハウの助言がありました。

豊田章一郎全学同窓会会長、佐々木毅学士会理事長、丹羽宇一郎関東支部長などからの祝電の披露がありました。

この後、松尾総長と小笠原支部長が、各テーブルを回られて、参加者とのスナップ写真を撮りました。



集合写真1 (A-F テーブル)



集合写真 (A、G-K テーブル)

交流会の終わり近くで、松尾総長によって、5名が抽選で選ばれ、名大饅頭の賞品を小笠原支部長が渡し、選ばれた人達から簡単な挨拶がありました。

参加者が多かったので集合写真は2回に分けて撮りました。最後に、内山文雄幹事（キタン会理事・キタン会大垣支部長）による閉会の挨拶が行われ盛会の内に交流会は終了しました。資料を入れた封筒には、名古屋大学グッズのボールペンを入れてあり、アンケートを書いてもらいました。

閉会後も、全学同窓会旗の周辺で、総長や支部長と一緒に写真を撮る人が多くいました。

6. 今後の活動

集めたアンケートによれば、岐阜支部設立や交流会は大変好評でした。ただし、会費を1万円としたため、費用を差し引いた残金は、岐阜支部の運営費に使わせてもらうという案内をあらかじめ出していましたが、それでも少し高いという感想が出ました。

各国内支部の総会には、大学からは総長が、全学同窓会本部からは、代表幹事などがずっと参加しています。今後、4つに増えた国内支部でも、これらが継続されることを希望します。

今後、毎年の総会を開催し、可能なら幹事会を中心に種々の活動をする企画する予定です。参画型で、ご協力をお願い致します。

今回の岐阜支部設立に際しては、全学同窓会事務局を始めとして、大変多くの人たちの協力を得ました。ここに深謝致します。